

第5章 食肉の料理

家庭における夕食について、食肉の料理はどの程度出現し、さらにそれらの調理形態はどのようになっているだろうか。また、外食における食肉料理はどうであろうか。この章では、これらについて調査した。

1 夕食メニューにおける肉と魚の出現頻度

6月の1週間における調査世帯の夕食の延べ食数(2,151世帯×7日=15,057食)に対する家庭と外食における肉料理と魚料理の出現頻度についてみると、家庭では「肉料理」が57.4%、「魚料理」が33.8%、「肉・魚以外の料理」が14.9%となっている。1週間の夕食のうち「肉料理」はおよそ4日、「魚料理」はおよそ2日出現したことになる。(表5-1)

また、1週間のうち外食をした世帯については、「肉料理」が4.3%、「魚料理」が2.8%、「肉・魚以外の料理」が2.5%となっており、それぞれかなり低い割合にとどまっている。

表5-1 夕食メニューにおける魚と肉の出現頻度

	家庭			外食		
	肉料理 %	魚料理 %	肉・魚以外の料理 %	肉料理 %	魚料理 %	肉・魚以外の料理 %
平成12年12月	57.4	32.4	7.2	2.5	1.7	0.9
平成13年 6月	57.8	32.6	6.8	2.6	1.9	0.9
12月	57.5	33.8	6.7	2.1	2.4	0.9
平成14年 6月	55.6	35.3	14.2	4.0	2.6	2.2
12月	57.4	33.8	14.9	4.3	2.8	2.5

(注) 1日の食事につき複数回答を含む。

2 夕食で作った肉料理の形態

(1)小括

夕食で使用した食肉の種類で使用頻度をみると、豚肉が最も多く、次いで牛肉、鶏肉、挽肉、その他の順となっている。(後掲表5 - 3、表5 - 4、表5 - 5、表5 - 6、表5 - 7)

また、夕食で使用した食肉全体について調理形態をみると、冬期であるせいか、「煮物」が28.7%で最も多く、次いで「焼き物」が23.6%、「炒め物」が17.5%、「揚げ物」が15.3%、「その他」が14.8%となっている。(表5 - 2)

表5 - 2 肉の種類別調理形態(全体)

		合計	全体	焼き物	煮物	揚げ物	炒め物	その他
		食	%	%	%	%	%	%
平成14年 6月		7,476	100.0	26.7	22.2	16.8	21.3	12.9
平成14年12月		8,040	100.0	23.6	28.7	15.3	17.5	14.8
世帯構成	子供が小学生以下の世帯	1,946	100.0	23.9	28.3	15.1	16.8	15.9
	成長期の子供がいる世帯	2,185	100.0	24.5	27.0	17.5	17.2	13.8
	20歳代がいる世帯	1,922	100.0	23.5	28.4	15.2	18.3	14.6
	子供がいない世帯	1,220	100.0	21.6	30.2	14.3	17.7	16.2
	高齢者のみの世帯	767	100.0	23.9	32.3	11.9	18.4	13.6
検定結果：*								
職業	持っている	3,370	100.0	23.8	28.2	15.4	17.9	14.6
	持っていない	4,570	100.0	23.5	29.1	15.3	17.1	15.0

検定結果：-

(2)牛肉

牛肉について調理形態をみると、「煮物」が41.6%、「焼き物」が32.9%となっている。これに次いで「その他」が12.5%、「炒め物」が12.0%、「揚げ物」が1.0%となっている。(表5-3)

表5-3 肉の種類別調理形態(牛肉)

		合計	全体	焼き物	煮物	揚げ物	炒め物	その他
		食	%	%	%	%	%	%
平成14年6月		1,656	100.0	38.5	34.4	2.4	14.9	9.8
12月		1,925	100.0	32.9	41.6	1.0	12.0	12.5
世帯構成	子供が小学生以下の世帯	414	100.0	31.6	41.5	1.2	11.4	14.3
	成長期の子供がいる世帯	538	100.0	34.9	40.0	0.7	12.6	11.7
	20歳代がいる世帯	447	100.0	32.7	39.6	1.6	13.2	13.0
	子供がいない世帯	297	100.0	31.0	44.8	0.3	10.1	13.8
	高齢者のみの世帯	229	100.0	33.6	45.0	1.3	11.8	8.3
検定結果:-								
職業	持っている	806	100.0	33.4	39.8	0.9	13.9	12.0
	持っていない	1,086	100.0	32.5	43.0	1.0	10.6	12.9
検定結果:-								

(3)豚肉

豚肉について調理形態をみると、「炒め物」が27.9%と最も多く、次いで「煮物」が25.3%、「焼き物」が17.1%となっている。さらに、「その他」が15.0%、「揚げ物」が14.6%となっている。(表5-4)

表5-4 肉の種類別調理形態(豚肉)

		合計	全体	焼き物	煮物	揚げ物	炒め物	その他
		食	%	%	%	%	%	%
平成14年6月		2,746	100.0	19.6	19.9	14.6	32.8	13.1
平成14年12月		2,853	100.0	17.1	25.3	14.6	27.9	15.0
世帯構成	子供が小学生以下の世帯	675	100.0	16.7	26.2	13.3	27.3	16.4
	成長期の子供がいる世帯	756	100.0	16.4	24.9	16.8	27.4	14.6
	20歳代がいる世帯	686	100.0	17.6	24.1	14.1	29.7	14.4
	子供がいない世帯	470	100.0	17.7	25.3	15.5	26.0	15.5
	高齢者のみの世帯	266	100.0	18.0	27.8	10.9	30.1	13.2
検定結果:-								
職業	持っている	1,199	100.0	17.2	25.6	14.4	27.3	15.5
	持っていない	1,623	100.0	17.3	25.1	14.8	28.3	14.5
検定結果:-								

(4) 挽肉

挽肉について調理形態をみると、「焼き物」が41.2%と圧倒的に多く、次いで「煮物」が17.5%、「炒め物」が15.4%、「その他」が14.6%、「揚げ物」が11.4%となっている。(表5-5)

表5-5 肉の種類別調理形態(挽肉)

		合計	全体	焼き物	煮物	揚げ物	炒め物	その他
		食	%	%	%	%	%	%
平成14年 6月		1,011	100.0	44.2	10.3	13.5	18.9	13.2
平成14年12月		1,054	100.0	41.2	17.5	11.4	15.4	14.6
世帯構成	子供が小学生以下の世帯	292	100.0	44.5	17.1	9.6	15.1	13.7
	成長期の子供がいる世帯	295	100.0	45.4	16.9	11.5	15.3	10.8
	20歳代がいる世帯	279	100.0	39.8	17.6	11.8	14.3	16.5
	子供がいない世帯	117	100.0	29.1	17.9	14.5	18.8	19.7
	高齢者のみの世帯	71	100.0	35.2	19.7	11.3	15.5	18.3
検定結果：-								
職業	持っている	450	100.0	41.3	18.9	10.2	16.7	12.9
	持っていない	594	100.0	40.7	16.7	12.3	14.1	16.2
検定結果：-								

(5) 鶏肉

鶏肉の調理形態についてみると、「揚げ物」が35.5%と最も多く、次いで「煮物」が29.0%、「焼き物」が15.0%、「その他」が13.7%、「炒め物」が6.8%となっている。(表5-6)

表5-6 肉の種類別調理形態(鶏肉)

		合計	全体	焼き物	煮物	揚げ物	炒め物	その他
		食	%	%	%	%	%	%
平成14年 6月		1,771	100.0	18.4	22.8	37.7	9.6	11.5
平成14年12月		1,863	100.0	15.0	29.0	35.5	6.8	13.7
世帯構成	子供が小学生以下の世帯	474	100.0	15.8	28.9	35.9	6.3	13.1
	成長期の子供がいる世帯	494	100.0	16.4	24.9	41.7	5.5	11.5
	20歳代がいる世帯	438	100.0	12.3	32.6	34.7	6.8	13.5
	子供がいない世帯	291	100.0	15.8	29.9	28.5	10.0	15.8
	高齢者のみの世帯	166	100.0	13.9	30.1	30.1	6.6	19.3
検定結果：*								
職業	持っている	758	100.0	15.6	27.6	37.2	7.1	12.5
	持っていない	1,083	100.0	14.6	30.4	34.0	6.4	14.7
検定結果：-								

(6)その他

その他の肉について調理形態をみると、「その他」が32.8%と最も多く、次いで「炒め物」が27.6%、「焼き物」が18.6%、「煮物」が16.9%、「揚げ物」が4.1%となっている。(表5 - 7)

表5 - 7 肉の種類別調理形態(その他)

		合計	全体	焼き物	煮物	揚げ物	炒め物	その他
		食	%	%	%	%	%	%
平成14年 6月		292	100.0	16.8	13.0	5.5	28.8	36.0
平成14年12月		344	100.0	18.6	16.9	4.1	27.6	32.8
世帯構成	子供が小学生以下の世帯	91	100.0	18.7	16.5	1.1	23.1	40.7
	成長期の子供がいる世帯	102	100.0	8.8	14.7	10.8	27.5	38.2
	20歳代がいる世帯	71	100.0	28.2	16.9	1.4	29.6	23.9
	子供がいない世帯	45	100.0	17.8	20.0	0.0	28.9	33.3
	高齢者のみの世帯	35	100.0	28.6	20.0	2.9	34.3	14.3
検定結果：**								
職業	持っている	157	100.0	14.6	19.1	7.0	22.9	36.3
	持っていない	184	100.0	21.7	15.2	2.7	29.9	30.4

検定結果：-

3 外食の状況

外食の総夕食数に対する割合はわずかに 4.3%であり、家庭内での料理と比較するとかなり少ない。(前掲表5 - 1)

これら肉料理の内訳をみると、「牛肉」が最も多く 47.1%、「豚肉」が 17.1%、「鶏肉」が 13.4%、「その他」が 11.2%「挽肉」が 11.1%となっている。(表5 - 8)

所得階層別でみると、「牛肉」で高所得層ほど外食する世帯が多くなっている。

表5 - 8 外食の肉の種類

	総夕食数 食	全体	肉料理内訳					
			牛肉 %	豚肉 %	挽肉 %	鶏肉 %	その他 %	
平成14年 6月	582	100.0	38.3	18.9	9.3	22.7	10.8	
平成14年12月	649	100.0	47.1	17.1	11.1	13.4	11.2	
所得階層	300万円未満	50	100.0	36.0	6.0	18.0	20.0	20.0
	300～499万円	208	100.0	47.1	20.2	10.6	10.1	12.0
	500～699万円	134	100.0	40.3	20.9	14.2	12.7	11.9
	700～999万円	160	100.0	53.8	13.1	11.3	16.3	5.6
	1000万円以上	82	100.0	57.3	14.6	4.9	12.2	11.0
	無回答	15	100.0	20.0	33.3	0.0	20.0	26.7
検定結果：*								
世帯構成	子供が小学生以下の世帯	165	100.0	49.1	19.4	14.5	10.3	6.7
	成長期の子供がいる世帯	146	100.0	53.4	14.4	9.6	11.0	11.6
	20歳代の成人がいる世帯	177	100.0	46.3	14.7	11.3	15.8	11.9
	子供がいない世帯	109	100.0	40.4	17.4	11.0	14.7	16.5
	高齢者のみの世帯	52	100.0	40.4	25.0	3.8	19.2	11.5
検定結果：-								
職業	職業を持っている	297	100.0	45.8	17.8	11.8	16.2	8.4
	職業を持っていない	341	100.0	47.8	16.7	10.6	11.4	13.5
	無回答	11	100.0	63.6	9.1	9.1	0.0	18.2
検定結果：-								